

「特別の教科 道徳」の内容は、どのように構成されていますか。

★ ポイント

学習指導要領における内容は、4観点から改善・修正・付記があります。

- 1 4視点の順序の改善
- 2 いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとする観点からの改善
- 3 内容項目に新たに加わったり、分化・統合されたりし、分かりやすい表現に修正
- 4 内容項目に手掛かりとなるキーワードの付記

以下、内容について以下に示します。なお、小学校内容についても示していますので、小中連携等にご活用ください。

1 4視点の順序の改善

改正前		改正後
1 主として自分自身に関する事	→	A 主として自分自身に関する事
2 主として他の人とのかかわりに関すること	→	B 主として人との関わりに関する事
3 主として自然や、崇高なもののかかわりに関すること	↔	C 主として集団や社会との関わりに関する事
4 主として集団や社会とのかかわりに関すること	↔	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

2 いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとする観点からの改善

「個性の伸長」、「相互理解、寛容」、「公正、公平、社会正義」、「国際理解、国際親善」、「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加しています。

特に、「相互理解、寛容」については小学校第3学年から（現行は第5学年から）、「公正、公平、社会正義」については、小学校第1学年から（現行は第5学年から）、「よりよく生きる喜び」については小学校第5学年から（現行は中学校から）取り扱うことになっています。

3 内容項目に新たに加わったり、分化・統合されたりし、分かりやすい表現に修正

校種・学年	内容項目の総数	
	改正前	改正後
小学校第1学年及び第2学年	16	19
小学校第3学年及び第4学年	28	20
小学校第5学年及び第6学年	22	22
中学校	24	22

4 内容項目に手掛かりとなるキーワードの付記

「内容」を「項目」と称することを明記し、それぞれの内容項目に手掛かりとなる言葉をキーワードとして付記します。

(例)「善悪の判断、自律、自由と責任」、「正直、誠実」、「節度、節制」、「個性の伸長」等

【道徳科の内容項目一覧】

※ ◎は新設された内容項目

小 学 校				中 学 校 (22)
	第1学年及び 第2学年(19)	第3学年及び 第4学年(20)	第5学年及び 第6学年(22)	
A 主として自分自身に関すること				
1 善悪の判断, 自律, 自由と責任	○	○	○	1 自主, 自律, 自由と責任
2 正直, 誠実	○	○	○	
3 節度, 節制	○	○	○	2 節度, 節制
4 個性の伸長	◎	○	○	3 向上心, 個性の伸長
5 希望と勇気, 努力と強い意志	○	○	○	4 希望と勇気, 克己と強い意志
6 真理の探究			○	5 真理の探究, 創造
B 主として人との関わりに関すること				
7 親切, 思いやり	○	○	○	6 思いやり, 感謝
8 感謝	○	○	○	
9 礼儀	○	○	○	7 礼儀
10 友情, 信頼	○	○	○	8 友情, 信頼
11 相互理解, 寛容		◎	○	9 相互理解, 寛容
C 主として集団や社会との関わりに関すること				
12 規則の尊重	○	○	○	10 遵法精神, 公德心
13 公正, 公平, 社会正義	◎	◎	○	11 公正, 公平, 社会正義
14 勤労, 公共の精神	○	○	○	12 社会参画, 公共の精神
				13 勤労
15 家族愛, 家庭生活の充実	○	○	○	14 家族愛, 家庭生活の充実
16 よりよい学校生活, 集団生活の充実	○	○	○	15 よりよい学校生活, 集団生活の充実
17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	○	○	○	16 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度
				17 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度
18 国際理解, 国際親善	◎	○	○	18 国際理解, 国際貢献
D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること				
19 生命の尊さ	○	○	○	19 生命の尊さ
20 自然愛護	○	○	○	20 自然愛護
21 感動, 畏敬の念	○	○	○	21 感動, 畏敬の念
22 よりよく生きる喜び			◎	22 よりよく生きる喜び

A : 主として自分自身に関すること
自己の在り方を自分自身との関わりで捉え、望ましい自己の形成を図ることにに関するもの

B : 主として人との関わりに関すること
自己を人との関わりにおいて捉え、望ましい人間関係の構築を図ることにに関するもの

C : 主として集団や社会との関わりに関すること
自己を様々な社会集団や郷土, 国家, 国際社会との関わりにおいて捉え、国際社会と向き合うことが求められている我が国に生きる日本人としての自覚に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養うことにに関するもの

D : 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること
自己を生命や自然, 美しいもの, 気高いもの, 崇高なものとの関わりにおいて捉え、人間としての自覚を深めることにに関するもの

※ 視点は、相互に深い関連をもっています。各学年段階においては、関連を考慮しながら、4視点に含まれる全ての内容項目について適切に指導することになっています。